

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【公開番号】特開2020-105298(P2020-105298A)

【公開日】令和2年7月9日(2020.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-027

【出願番号】特願2018-243723(P2018-243723)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/322 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/322

B 4 1 M 5/00 1 2 0

B 4 1 M 5/00 1 1 2

B 4 1 M 5/00 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月10日(2021.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

低吸液性印刷媒体へのインクジェット印刷用水系インクであって、

顔料、ポリマー分散剤、水溶性有機溶媒、及び水を含有し、

該水溶性有機溶媒中に、両末端に水酸基を有する炭素数4以上6以下のアルカンジオール、ジプロピレングリコール、及び2-ピロリドンから選ばれる1種以上の有機溶媒を9
0質量%以上98質量%以下含む、インクジェット印刷用水系インク。

【請求項2】

両末端に水酸基を有する炭素数4以上6以下のアルカンジオールが、1,4-ブタンジオール、1,5-ペンタンジオール、及び1,6-ヘキサンジオールから選ばれる1種以上である、請求項1に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項3】

顔料が、顔料を含有するポリマー粒子の形態である、請求項1又は2に記載のインクジェット印刷用水系インク。

【請求項4】

顔料を含有するポリマー粒子の平均粒径が40nm以上200nm以下である、請求項3に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項5】

顔料を含有するポリマー粒子を構成するポリマーが、イオン性モノマー(a-1)と、疎水性モノマー(a-2)とを含む原料モノマー(a)を共重合させてなるビニル系樹脂である、請求項3又は4に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項6】

顔料を含有するポリマー粒子が、架橋剤で架橋されてなる、請求項3~5のいずれかに記載のインクジェット印刷用水系インク。

【請求項7】

架橋剤が、炭素数3以上8以下の炭化水素基を有する多価アルコールのポリグリシル

エーテル化合物である、請求項 6 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 8】

更に、顔料を含有しないポリマー粒子 B を含有する、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 9】

更に、アセチレンギリコール系界面活性剤及びシリコーン系界面活性剤から選ばれる 1 種以上の界面活性剤を含有する、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 10】

低吸液性印刷媒体がポリエチレンテレフタレート又はポリプロピレンである、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のインクジェット印刷用水系インク。

【請求項 11】

軟包装印刷用である、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載のインクジェット印刷用水系インク。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載の水系インクのフルカラー印刷用インクセット。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載の水系インクを用いて、低吸液性印刷媒体に印刷する、インクジェット印刷方法。

【請求項 14】

印刷面を 70 以下の温度で加熱する、請求項 13 に記載のインクジェット印刷方法。